

各報道機関文教担当記者 殿

1/23 金沢大学の研究力を紹介

金沢大を代表する研究者が勢揃い

金沢大学フロンティアサイエンス機構(FS0)では、本学の研究戦略を踏まえた、重点研究プログラムならびにテニュア・トラック教員による成果報告とテニュア・トラック制度に重点を当てた若手研究者の育成に関する意見交換を目的にアドバイザーリーボード委員会を開催いたします。

重点研究プログラムには、大学から人材、資金、スペースなどの資源を配分しています。人材にはテニュア・トラックで優秀な若手研究者を採用し、重点研究プログラムから新たな研究領域の創成あるいは将来金沢大学の特徴となる研究になるための基盤作りを目指してきました。

今回、金沢大学を代表する研究者が一堂に揃い、これまでの研究成果を発表します。

■第4回アドバイザーリーボード委員会

日時 平成24年1月23日(月) 9:30~16:00

場所 大会議室 本部棟6階(角間キャンパス)

プログラム

9:30~11:30 第一部 金沢大学の研究と重点研究プログラムの成果報告

13:00~16:00 第二部 若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業

「新領域創成をめざす若手研究者育成特任制度」の
成果報告

については、当日取材について、どうぞよろしく願いいたします。

本件照会先：金沢大学研究推進課総務係 浜浦
Tel：076-264-6140

担当：金沢大学広報戦略室 松本
Tel：076-264-5024

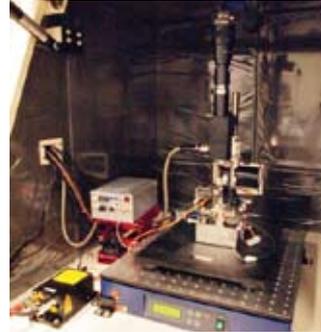
Frontier Science Organization

第4回アドバイザリーボード委員会

2012
1/23
9:30~

角間キャンパス
事務局6階
大会議室

平成19年度に設置されたフロンティアサイエンス機構（FSO）は、設立から5年が経過しました。今回は、本学の研究戦略を踏まえた、重点研究プログラム並びにテニュア・トラック教員による成果報告とテニュア・トラック制度に焦点を当てた若手研究者の育成に関する意見交換を目的にアドバイザリーボード委員会を開催いたします。



第1部 金沢大学の研究と重点研究プログラムの成果報告

- 9:30-9:35 中村 信一学長挨拶
- 9:35-9:55 金沢大学の研究力の現状と実績及び研究力強化のための取組み
～学内の研究基盤の整備と研究支援体制～ 長野 勇理事
- 9:55-11:35 重点研究プログラムの成果報告
- 9:55-10:10 発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成
プログラムリーダー：東田 陽博 教授
- 10:15-10:30 先端 Bio-AFM 開発プロジェクト 革新的な計測技術・装置の開発による新しい生命科学の創成
プログラムリーダー：安藤 敏夫 教授
- 10:35-10:50 栄養による恒常性の破綻と、その制御に関する研究
プログラムリーダー：金子 周一 教授（代理：篁 俊成 准教授）
- 10:55-11:10 海洋掘削がひらく新たな地球への窓—モホールを支える地球科学の拠点形成—
プログラムリーダー：荒井 章司 教授
- 11:15-11:30 環日本海域に見る土地・海・風の環
プログラムリーダー：岩坂 泰信 特任教授

第2部 若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業

「新領域創成をめざす若手研究者育成特任制度」の成果報告

- 13:00-13:10 文部科学省挨拶（猪股人材政策企画官）
- 13:10-13:30 金沢大学のテニュア・トラック制度
- 13:30-15:30 特任教員の成果発表（8名）

- 13:30-13:40 福間 剛士 原子間力顕微鏡を用いた生命現象の分子スケール計測技術の開発
- 13:45-13:55 井上 啓 中枢神経による肝臓の糖脂質代謝制御機構の解明
- 14:00-14:10 森下 知晃 海洋リソスフェアの3次元実体の解明—日本海深部掘削にむけて
- 14:15-14:25 佐藤 純 ショウジョウバエ脳視覚中枢の発生と機能を貫く分子機構
- 14:30-14:40 Wong, R. Nuclear pore 蛋白質群 Nucleoporins の動的構造と機能
- 14:45-14:55 堀家 慎一 染色体工学技術を用いた自閉症罹患遺伝子座の解析
- 15:00-15:10 太田 嗣人 肝臓の栄養代謝におけるストレス応答の分子機構解明
- 15:15-15:25 松木 篤 大気エアロゾルの気候学・環境学的研究と環日本海域観測ネットワークの展開

- 15:30-16:00 テニュア・トラック制度に関する意見交換

第3部 評価会（非公開）

- 16:30-17:30 座長：石田 寛人 金沢学院大学名誉学長